



タによる分析を実施するとともに、交通管理者・道路管理者および道路利用者へヒアリングを行い、解除の是非について検討をすすめていくこととなった。また調査時期については新型コロナウイルスによる影響を考慮して決定することとなった。

なお、以下の意見があった。

- ✓ 平均速度は、速度のバラツキを考慮する必要がある、ETC2.0 の積載車両の台数や交通量の関係も明らかにし、データの特性を踏まえ、より正確な分析に努めてもらいたい。
- 議事（４）にて、堀川通・油小路通の現状の評価を行い短期的な渋滞対策の実施状況、および効果検証は新型コロナウイルスによる交通状況への影響を考慮しながら今後行っていく方針を、事務局から説明し、了承された。

なお、以下の意見があった。

- ✓ 短期対策の工事は完了したが、新型コロナウイルスの影響で交通量が平常時の状態ではなく、交通量の回復時期が現時点で想定できないことから、効果検証に時間がかかることは理解できる。効果検証は大変重要であるが、市としては中長期的対策案の検討に向けた準備についても着実に進めていただくようお願いしたい。
- ✓ 短期対策により堀川通・油小路通が走行しやすくなったと実感しているが、JR アンダーバス箇所等では現在も渋滞が生じており、新型コロナウイルスの影響が将来収束し、交通状況が元に戻った際、再び渋滞が発生しないか危惧。中長期的な対策の検討についても着実に進めて頂きたい。
- ✓ 堀川通・油小路通をはじめ、市内の主要渋滞箇所の中には、根本的に交通容量が不足しており、交通ボトルネックとなっている箇所がある。道路の改築は容易ではないことは理解するが、対策の検討を進めて頂きたい。
- 議事（５）～（８）について、資料に基づき事務局から説明し、了承された。